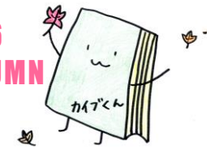
歴史文書は市民の財産　Nagano City Archives News Vol.28

長野市公文書館便り

2016 AUTUMN

●発行日：平成28年(2016年) 9月 20日●発行：長野市公文書館



©NaganoCityArchives

官営富岡製糸場への伝習工女の送出

明治政府は富国強兵・殖産興業政策を推進し、群馬県の官営富岡製糸場も明治 5 年（1872）10 月から操業を開始しました。政府や長野県は、技術を伝習するため工女の募集を強く進めましたが、「生血を取られる」「油を絞られる」などの噂が広がり、思うように人員を確保できませんでした。

松代町ほか 12 ヵ村の戸籍区（29 区）の副区長だった横田数馬が、明治 6 年 3 月に次女の英（横田英・後の和田英・『富岡日記』の著者）をはじめ 16 人の女性を、伝習工女として富岡製糸場へ送ったことはよく知られています。

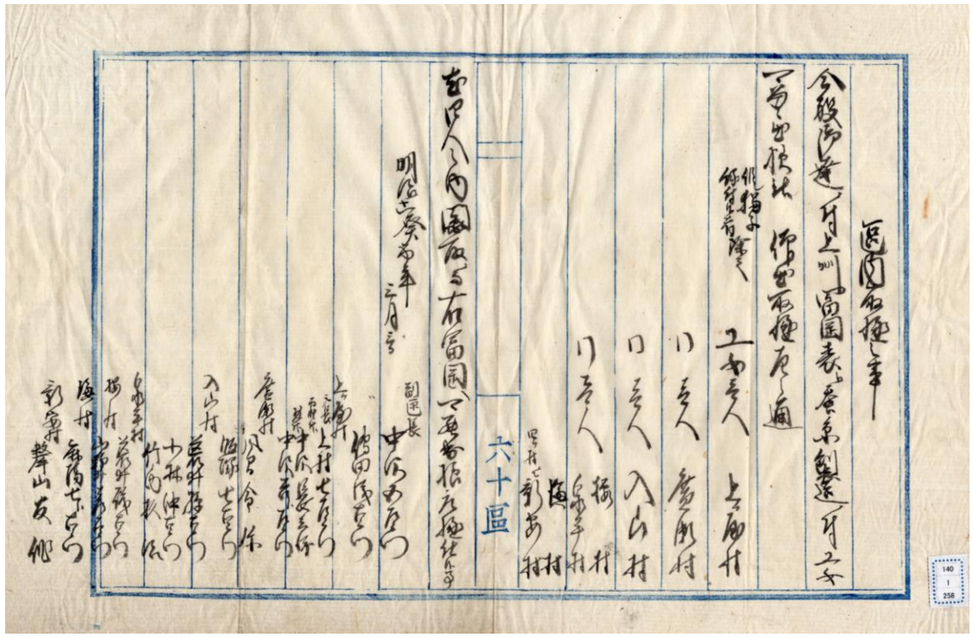
今回は芋井地区から富岡製糸場への伝習工女の送出について、史料紹介をします。上ヶ屋村・広瀬村・入山村・桜村・泉平村・鑪村・新安村・荒安村は同一の戸籍区（60 区）でした。県から厳しく「上州の富岡へ蚕糸製造について工女を差出すよう」いってきたので、明治 6 年 3 月 3 日、区では差出方法について取決めをしました（写真）。上ヶ屋村・広瀬村・入山村へは 1 人ずつ、他 4 ヵ村はまとめて 1 人（史料に荒安村の記載がない）を割当て、計 4 人を選んでさらに、くじで決めるというものでした。

なお候補者からは、一人子と既婚者は除外することにされています。選出の経緯は不明ですが別の史料によると、この時上ヶ屋村から 2 人が富岡製糸場へ送られたことが分かります。

送出した工女について、明治 6 年 8 月、現長野市域の吉田村からは父親の大病を理由にして一時帰村願いが、長野村からは縁談を理由に 2 人の帰村願いが出されています。

芋井地区の上ヶ屋村でも、送出した 2 人について、明治 6 年 9 月にそれぞれの母親と父親の病気を理由に、製糸場にあてて一時帰村願いが出されています。その内の 1 人は、富岡まで迎えに行った父親に付添われて、9 月 16 日に無事戻ってきています。再度富岡へ向かったかは、史料がなく不明です。

富岡製糸場への工女選出が始まると、慌ただしく縁談を取りまとめて結婚するという事例も見られます。結婚後 1 ヵ月も経たない内に離婚となり、富岡行きを避けるための偽装だとして、夫側が裁判所へ訴えでようとする動きもありました。明治維新後の間もない頃、地方の村々の一般民衆が、政府の殖産興業政策を受入れることは、容易なことではなかったのです。



「区内取極之事」
富岡製糸場への伝習工女の選出方法を取決めた文書
（長野市芋井　傳田政子氏所蔵）（古 140－1－258）

日々是文書（これ）～スタッフ通信～

【パネル展】

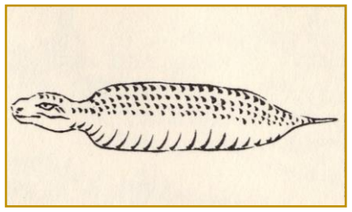
8 月 2 日から 14 日まで「ちょっ蔵おいらい館」において『戦後 70 年 15 年戦争下の長野市民』を開催しました。このパネル展は昨年の秋に当館で開催したものですが、気温 35 度を越える猛暑日が続いているにも関わらず期間中 300 人近くの方が来館され、熱心にパネルをご覧になりました。終戦から 70 年以上経った今、このような資料は後世のために大変貴重なものになっています。これからも語り継いでいくことが大切です。

【公開資料】

- 「市役所文書 4」（旧役場文書 286 点）
- 「傳田家文書」（古文書 641 点）
- 「信濃路出版文庫　他」（図書 183 冊<4 月-7 月>）

『信濃奇勝録』（全五巻）（井出道貞／著）信濃路出版寄贈（1975 年発行）（N290-ィ）

「一巻・筑摩郡之部」の中に“野槌（のつち）”という段落があり木曽に「ツチノコ？」らしき生物がいたと記されています。



※『信濃奇勝録』は、江戸時代末期に信濃各地を実地踏査し記録した地誌です。当館にはほかに 1942 年に発行された古書もあります。

『ふるさと長野～カイブくんの歴史探訪～』好評配信中！！

6月から当館も制作に協力している、「愛 TV ながの」でスタートした『ふるさと長野～カイブくんの歴史探訪～』は、現在4回目まで配信されています。

① 豊かなる水と緑　わたしたちの長野市
② 善光寺平のあけぼの　クニのおこりと開けゆく北信濃
③ 戦国の世と川中島の戦い　生きのびた北信濃の武士
④ 全国に広がる善光寺信仰　一生に一度は善光寺参り

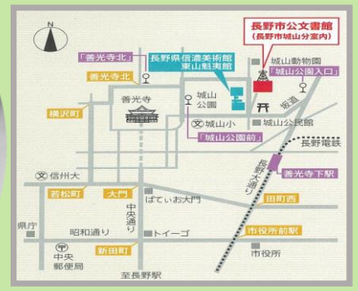
“信都・長野市”が、どのように生まれ育ってきたのか親子で楽しく学べる内容です。パソコンや携帯から「愛 TV ながの」で検索してみてください。（月 1 回／全 10 回）

講演会・パネル展の案内

【講演会】
○日　時　10 月 21 日（金）13 時 30 分から 15 時 30 分
○場　所　長野市城山分室大会議室（旧 NHK の建物内）
○演　題　「女優・松井須磨子とその時代」
○講　師　宮坂勝彦氏（松井須磨子研究家）
○申込等　聴講無料・定員 150 人程度（事前申込不要）

【パネル展】
○期　間　10 月 16 日（日）から 10 月 30 日（日）
<22 日、29 日は休館>
○時　間　9 時から 17 時（最終日は 16 時まで）
○テーマ「松井須磨子とその時代　明治末から大正時代の長野」
○入場料　無料

書籍『松井須磨子展　ふるさとの道、遥かに―』より



長野市公文書館
所 在 地　長野市箱清水一丁目３－８　長野市城山分室内（〒380-0801）
電　　話　０２６－２３２－８０５０　ＦＡＸ　０２６－２３２－８０５１
Ｈ　　Ｐ　http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/
又は　長野市公文書館　で検索
E-mail　shomu-9@city.nagano.lg.jp
開館時間　午前９時～午後５時（閲覧申込みは午後４時３０分まで）
休 館 日　土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日
年末年始（12月29日～1月3日）

こんなときにはご相談ください。

☆古い土蔵などを取り壊すので、所蔵資料を寄贈・寄託したい。

☆所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。